



D. K. Lee

李東建
2008-09年度国際ロータリー会長

No. 29

Takasago Rotary Club

週報

高砂

クラブ会長方針

- ①ロータリーを楽しもう
- ②子どもたちが幸せになるために
- ③友愛奉仕活動を実践しよう
- ④ロータリーの綱領を実践する

例会記録 (2009. 2. 7 (土)) 通算2,744回

東播第2グループ I.M.

◆プログラム予定

2月12日 (木)	2月20日 (金)	2月27日 (金)	3月6日 (金)
移動例会 (13日例会分) 新年家族例会 於：大黒天	卓話“こどもの町「高砂」 事業報告” 特定非営利活動法人 高砂キッズ・スペース	休 会 (定款第6条第1節(C)による)	卓 話 籠谷啓一会員

16:00 第2部

- ・講師紹介 I.M. 委員長 福島久雄
- ・テーマ：熱き心「私の価値観・倫理観」
- ・講師：登山家 平林克敏 様
住友ゴム工業株式会社元専務取締役

会場移動

加古川プラザホテル2階

17:45 第3部

- ・開宴 司会 I.M. 懇親会委員長 桃尾直之
- ・開宴の言葉 I.M. 副委員長 安本 豊
- ・乾杯 パストガバナー 神木 董
- ・歓談・アトラクション
高砂青松R.C ちんどん屋さん
加古川中央R.C 落語
高砂R.C ビオラ・フルート演奏
加古川R.C バンド演奏
加古川平成R.C 歌・ギター伴奏
東播第2グループガバナー補佐 詩吟
- ・次期ガバナー補佐挨拶 高砂R.C 永野 力
- ・閉宴の言葉 ホストクラブ副会長 木下三朗
- ・手に手つないで ソングリーダー 林 知宏

●講師のご紹介

平林 克敏（ひらばやし かつとし）

中学・高校時代より自然科学に興味を持ち、植物や山岳気象などを通してアルプスに登り続け、山の虜となる。同志社大学では山岳部のリーダーとして活躍、学生時代からヒマラヤ遠征に夢をはせ、その必要性を説き、自ら登山隊を組織してヒマラヤの高峰のいくつかに初登頂。



登山家 平林克敏様

略歴

- 1934年 長野県大町市に生まれる。県立大町高校を経て、京都・同志社大学に入学。同校卒業とともに関西電力(株)入社。黒四建設事務所に勤務。
- 1960年 (株)ダンロップ〈住友ゴム工業(株)の前身〉に入社。非タイヤ部門の事業で業績を伸ばし取締役事業部長、常務を経て、住友ゴム工業専務に就任。
- 1994年 住友ゴム欧州会社社長としてベルギーの首都ブリュッセルに駐在。

1997年 帰国後、住友ゴム工業顧問、(株)ダンロップスポーツ代表取締役会長、中央ダンロップ(株)・住友ゴム特品販売(株)取締役会長、住友ゴム工業(株)顧問などを歴任。

登山歴

- 1960年 アピ峰初登頂、1963年サイパル峰遠征隊副隊長として初登頂。
- 1970年 日本山岳会エベレスト登山隊員として最高峰を極める。
- 1985年 日中友好合同登山隊隊長としてナムナニ峰初登頂。
現在、日本山岳会、ヒマラヤンクラブ会員。

その他

エベレスト登山の功績により第八回秩父宮記念学術賞受賞

- 1983～2001年 文部省登山研修所委員
- 1999～2006年 同志社大学経営戦略懇談会委員
- 2003～2007年 社団法人日本山岳会副会長

現在は特定非営利活動法人；コアネット理事・関西代表としてキャリア教育支援、中小企業支援、自治体の事業評価等に従事及び株式会社環境デザイン研究所特別顧問として活躍されております。

著書

ヒマラヤサバイバル登頂「サンケイ新聞社」、エベレスト南西壁（共訳）「集英社」「熱き心」—登山と企業から学んだ人生哲学—「ぱるす出版」 その他



来賓の方々



藤本ガバナー補佐挨拶



来賓 宮本ガバナー



宮宅 I. M. S A A



福島 I. M. 委員長



第3部懇親会風景



第3部会場風景



高砂青松 R. C チンドン屋さん



加古川中央 R. C 落語



高砂 R. C 後藤会員と坂井会員



加古川 R. C バンド演奏



次期ガバナー補佐挨拶 高砂R.C永野会員



閉宴の挨拶 木下ホストクラブ副会長

アトラクションを楽しむ高砂ロータリー会員



会 長 坂牛 八州 幹 事 守光 隆
例会日時 毎週金曜日12時30分より
高砂ロータリークラブのホームページのURL

雑誌会報委員長 田中 泰生
例会場 高砂商工会議所 2階会議室
http://www.winwin.ne.jp/~takasago_rc/